

ハンセン病資料館見学と春の全生園を散策 入居者が植えた人権の森を訪ねる



ハンセン病資料館(左) 学芸員より説明を受ける参加者(右)

国立ハンセン病資料館は、東村山市の全生園（ハンセン病患者の隔離施設だった）の一角にあり、ハンセン病や長く隔離されてきた患者さんたちの歴史を伝える貴重な場所となっています。当日は、ガイダンスビデオ鑑賞後、資料館の展示を自由に見学、その後園内にある食堂で昼食の後全生園内を学芸員に説明をしてもらいながら散策します。園内は入居者の方々が植えた3万本の樹木や春・夏・秋に咲く152種類の草花、歴史的・史跡建造物などが数々あります。

2025年 **4月9日** (水)

J R武蔵野線「新秋津」駅 改札9:30集合

※資料館までは徒歩約20分、解散は同駅15時30分を予定

参加費：2,700円 ※昼食代、保険料を含みます

持ち物：飲み物、帽子、歩きやすい服装でご参加ください。

●お申し込み・問い合わせ先



特定非営利活動法人 大人の学校

333-0857 川口市小谷場206 生活クラブ生協内

TEL/FAX 048-423-3313

メール otonano-gakkou@cure.ocn.ne.jp